

# 浦和区自治会連合会

## 令和4年度研究発表会 報告書

1 日時 令和5年2月14日（火） 10時～11時30分

2 場所 浦和コミュニティセンター 9階 第15集会室

3 出席者

・藤枝会長・高橋副会長・石井副会長 他会長41名で計44名の出席であった。

4 開会

・司会は事業委員会の秦野委員長が進行した。

(1) 高橋副会長より開会の挨拶があった。

(2) 藤枝会長より多数の会長さんの出席に対する御礼と本日のテーマは自由テーマということで各地区において研究した成果を発表していただきたい旨の挨拶があった。

(3) 石井副会長より発表の順番及び各地区の発表時間は10分で、1分前になったら声掛けをすること、全地区の発表が終了した後で、質疑応答を行う旨のオリエンテーションを行った。

なお、秦野委員長より質疑応答は各地区の発表後ごとに行うことの訂正があった。

5 発表資料 発表内容の詳細は「令和4年度浦和区自治会研究発表会」の開催要領を参照されたい。

6 発表概要

(1) 元府趾地区（本太2丁目自治会 内田会長から発表）

・元府趾地区のテーマは「市庁舎移転に伴う現庁舎跡地の利活用について」検討及び意見交換を行った。

・前地自治会の佐々木会長より三鷹市の事例を参考に災害に強いまちづくりに取り組んでいることの説明があった。

・その他、地下シェルターの建設、モノレールやLRTの活用、国際交流拠点としての機能充実など、資料に記載されている利活用について説明があった。

・また、追加資料を配布し、前地の佐々木会長より三鷹市のほかにも豊島区、宇都宮市の事例を参考に説明があった。

(2) 北浦和・針ヶ谷地区（針ヶ谷2丁目自治協力会 河西会長から発表）

- ・各自治会からの現在の問題点を出してもらい、これからの自治会活動のあり方について協議した。
- ・問題点で多かったことは役員の高齢化、独居老人問題等についてであったが、各地区から出された問題点を円グラフにまとめ説明した。
- ・また、行事等のマンネリ化問題で、若い人を巻き込んでいかないと、これからの自治会活動は良くなる。やり方として若い人にイベントの運営を丸投げするのも一つの方法であるのではとの意見があった。

(3) 木崎第一地区（神花親和会 谷中会長から発表）

- ・研究テーマは「地区防災計画をつくる」をテーマに意見交換を行った。
- ・現在のところ、地区防災計画の策定が進んでいないという背景があるが、今後、さいたま市としても地区防災計画の策定を推進することから、防災訓練補助金についても上限が設けられた。
- ・大東地区では既に地区防災計画を策定済なので参考としたい。また、さいたま市のHPから地区防災計画策定のテンプレート（ひな型）があるので、必要事項を入力すれば地区防災計画が策定できるようなシステムがあるので参考にされたい。比較的簡単に作成できる。

(4) 木崎第二地区（上木崎6丁目自治協力会 村田会長から発表）

- ・自治会ごとにテーマを持ち寄ったが、各地区により様々なテーマであったため、課題を一括して「現代の自治会運営」ということにした。
- ・初めに人材問題を取り上げ、役員の高齢化、マンネリ化、若手人材発掘の困難さを取り上げた。
- ・また、新型コロナで3年間自治会運営が左右され、行事の運営等ができなかった。
- ・また、防災についても地震については木造密集住宅が多く火災のリスクに大きな課題があるとのことであった。

(5) 中央地区（高砂3丁目自治会 竹内会長から発表）

- ・中央地区は16自治会の参加で研修会を行ったが、今回は自由テーマで各自治会長から発言があった。
- ・高砂3丁目の県庁前駐車場に街路灯があるが、5時30分になると消灯してしまい真っ暗になるので、市に依頼し防犯灯を14基設置してもらった。おかげで防犯の役に立っている。
- ・県に県庁前駐車場の街路灯が5時半に消灯されるので、防犯上よくないので県に消灯しないように要望したが、この街路灯は駐車場を照明する街灯なので5時半に「消灯する規則になっている」と取り合ってもらえなかった。住民の声を聴いてもらえない県は何のためにあるのか、たいへん疑問であるとのことであった。

(6) 常盤地区(常盤6丁目自治会 林会長から発表)

- ・常盤地区の今回の研修目的は、自転車の交通ルールや自転車損害保険の加入について、講師から説明してもらい、危険防止や交通安全について考えることとした。
- ・埼玉県では、自転車の運転する場合には損害保険の加入が義務化されている。
- ・自転車安全利用五則の説明、またヘルメット着用の努力義務が令和5年4月から施行されるとのことであった。
- ・その他、自転車事故による高額賠償請求事例(判決で1億円近い金額)が全国各地であり、自転車事故に対する社会的責任の重みが増している中、自転車損害保険加入が義務化されたとのことであった。

7 まとめ

- ・今日の発表会のまとめとして、藤枝会長より本日の発表会の総括があった。各地区により課題は様々であるが、その中で、防災、防犯、自治会加入、活動のマナー化等共通す課題も多い。しかしながら、地域に見合った活動を推進し、他の地域のまねでは無く自分たちの地域は自分たちで守ることが時代の要請ではないかとのまとめの話があった。
- ・また、各地域で高齢化問題があり、防災の観点から、防災備品として紙オムツ等を防災補助金の対象にしてもらいたいので、防災アドバイザー協議会から市に対して要望してもらいたいとの意見があった。

8 石井副会長が閉会の宣言をした。

令和5年2月20日 浦和区自治会連合会 副会長 石井桂太郎